

- ソフトウェアプロセス改善カンファレンス 2005 -  
「企業の活力に繋がるプロセス改善を追い求めて」

# ERP導入プロセス改善

(SAP社製 R/3 中堅IT会社向けテンプレート  
導入メソッドロジgritとCMMIの融合)

富士ゼロックス情報システム株式会社

# 発表内容サマリー



## 第1部

### 導入メソドロジgrit構築事例

弊社ERP導入メソッド「grit」構築取り組み  
(2002～2004年)

## 第2部

### gritを基盤としたCMMI取り組み

ERP導入メソドロジ「grit」をベースにした  
CMMI適用活動  
(2005年～)

# ERPとERPパッケージ

Enterprise Resource Planning  
ERPパッケージ「SAP社 R/3」  
ERPを実現するためのソフトウェア



# 自社導入後、ERP事業展開

## 自社ERP導入

1996年12月

タスクチーム発足

1997年 1月

業務改善プロジェクトスタート

1997年 8月

ERP導入プロジェクト立ち上げ

1998年 7月

カットオーバー

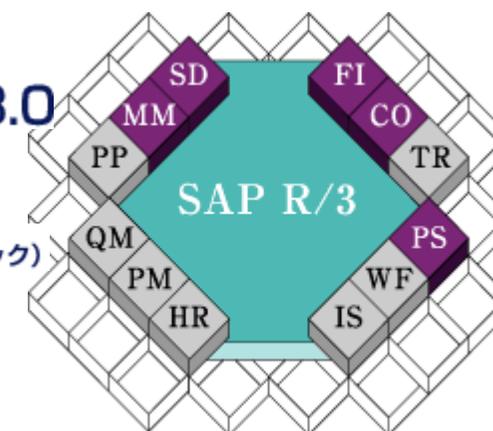
## 自社導入以後、ERPソリューション事業展開

SAP Business Model for IT Industry +

SAP R/3向けダイレクトインプットシステム Ver3.0

Supplier Relationship Management(SRM)

Business Total Solution for Service Industry(トータル費用コミットバック)



SAP R/3 導入コンサルティングサービス

ABAP仕様設計

SAP R/3 カスタマイジング

ホスティング・サポート  
ベース技術サポート

# gritとは

**GR**owth In **T**his way  
弊社独自のERP導入メソドロジ

ソリューション毎に構築

- grit for BTS/SI  
(中堅IT会社向けテンプレート導入)
- grit for SRM  
(Supplier Relationship Management導入)
- grit for ABAP  
(R/3アドオンプログラム開発)

# 第1部

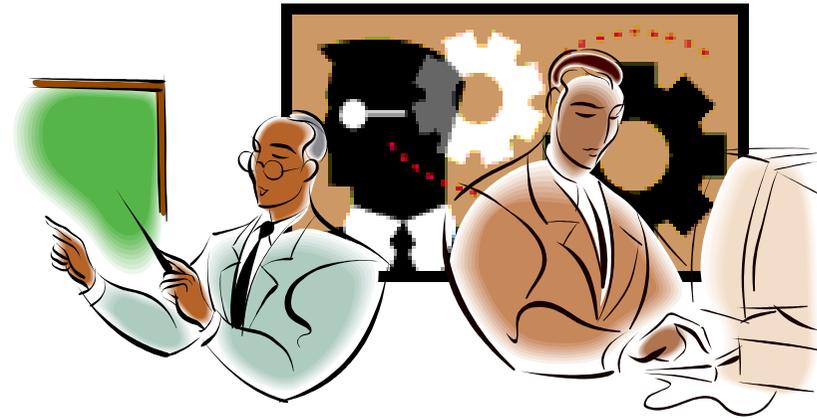
## 導入メソッドロジ grit

### 構築事例

# 第1部 grit構築事例サマリ



構築前の現状



メソドロジ構築



原因分析



効果

# 1-1. 構築前の現状

## 顧客の要求

品質、コスト、納期は厳しくなる一方である。

## 成功しないプロジェクト

思いつきで事を運ぶとうまくいかない  
顧客満足度が低い



# 1-2. 原因分析と課題

## 原因分析

**PM能力依存**

システムチックに管理されていない

ノウハウが共有されていない

## 課題

**全案件で品質確保**

**顧客満足**



# 1-3. メソドロジ構築

## 目標

品質・費用・納期の確実な達成

## コンセプト

共有と継続的改善

メソドロジを組織で共有し、  
継続的に改善する

ライフサイクル

現場のノウハウを反映

現場中心のタスク活動展開



# 1-4. gritの内容

統 合

ヒアリング  
シート

タ イ ム

導入作業  
項目一覧

コ ー ー

品 質

会議体  
運用ルール

0 1 2 3 4 5  
プロジェクトライフサイクル

コ ー ー  
ケ ー シ ョ ン

細 査

課題管理表

# 1-5 . 導入作業項目一覧

## ERP導入プロジェクトの標準WBSテンプレート 階層構造(フェーズ WBS タスク)

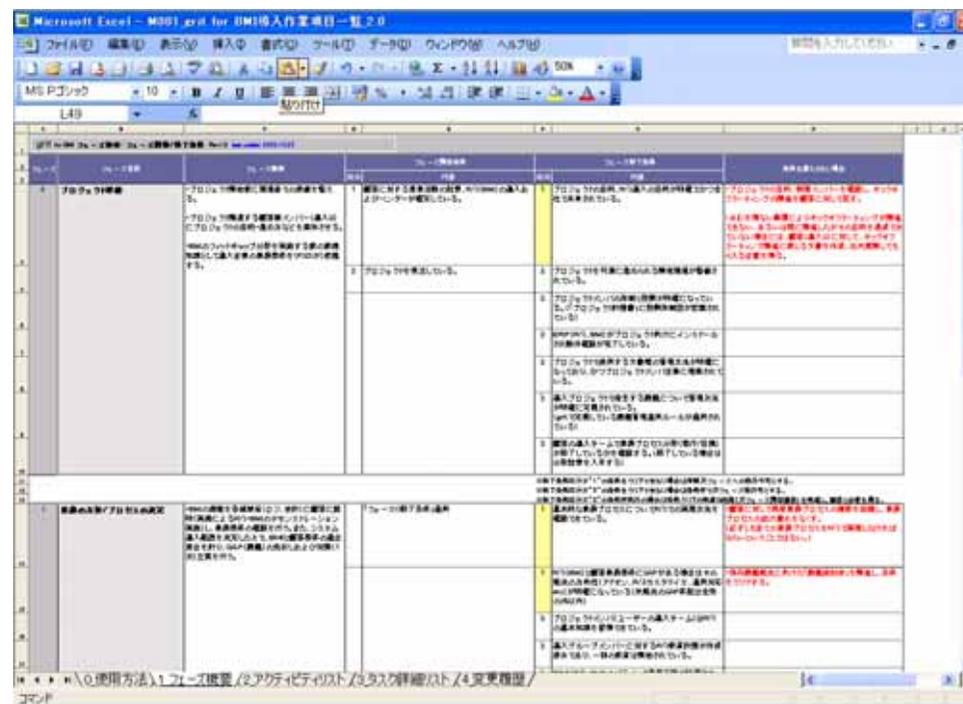
フェーズ定義、終了条件

フェーズ毎WBS、タスク、成果物

タイム

品質

スコープ

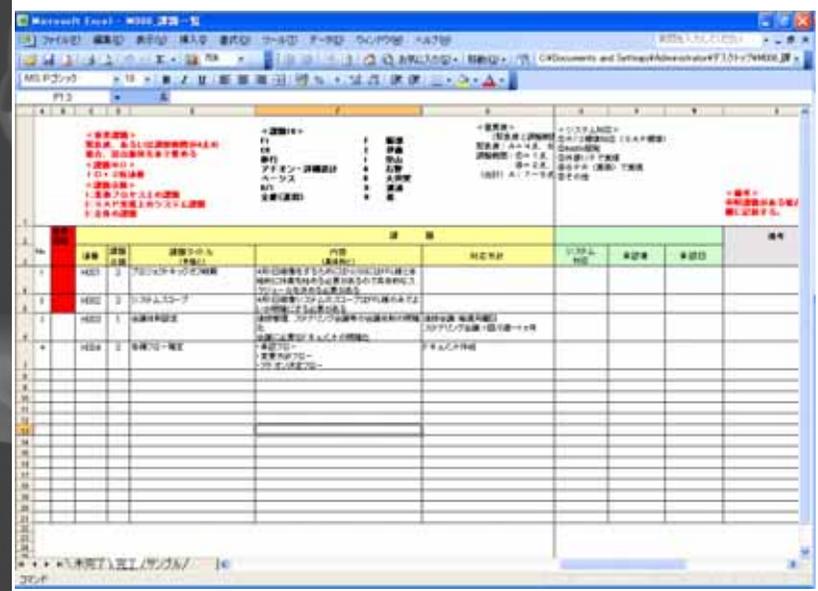


フェーズ	タスク	成果物
1. 準備フェーズ	1.1 準備フェーズの開始	準備フェーズの開始
2. 分析フェーズ	2.1 分析フェーズの開始	分析フェーズの開始
3. 実装フェーズ	3.1 実装フェーズの開始	実装フェーズの開始
4. 完了フェーズ	4.1 完了フェーズの開始	完了フェーズの開始

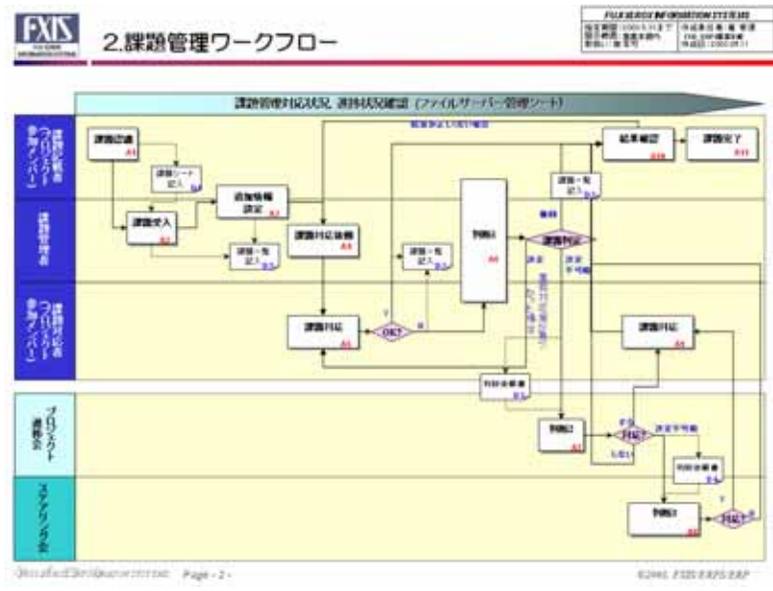
# 1-6. 課題管理表

リスク監視・コントロール  
運用ルール  
影響範囲、重要度による分類

リスク



課題ID	課題名	課題ステータス	内容	担当者	開始日	終了日	備考
H001	プロジェクトの開始	完了	プロジェクトの開始と関係者の選定	山田	2010/1/1	2010/1/10	
H002	システム設計	進行中	システムの要件定義と設計書の作成	田中	2010/1/15	2010/2/15	
H003	開発作業	予定	プログラムの開発とテストの実施	佐藤	2010/2/20	2010/3/31	





## 1-8 . 効果(目標達成と短期導入実現)

### プロジェクト目標の達成

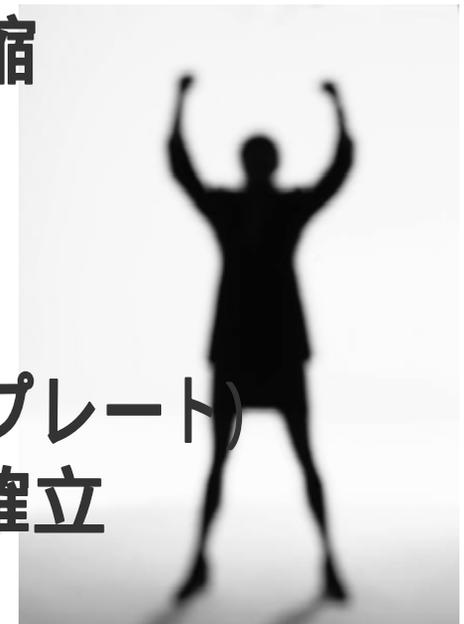
プロジェクト・リスクに適切に対処しながら、ゴール(Q・C・D)に着地

### 短期導入

IT企業(従業員約320名)向け導入案件に適用し通常10ヶ月導入を**5ヶ月**に短縮

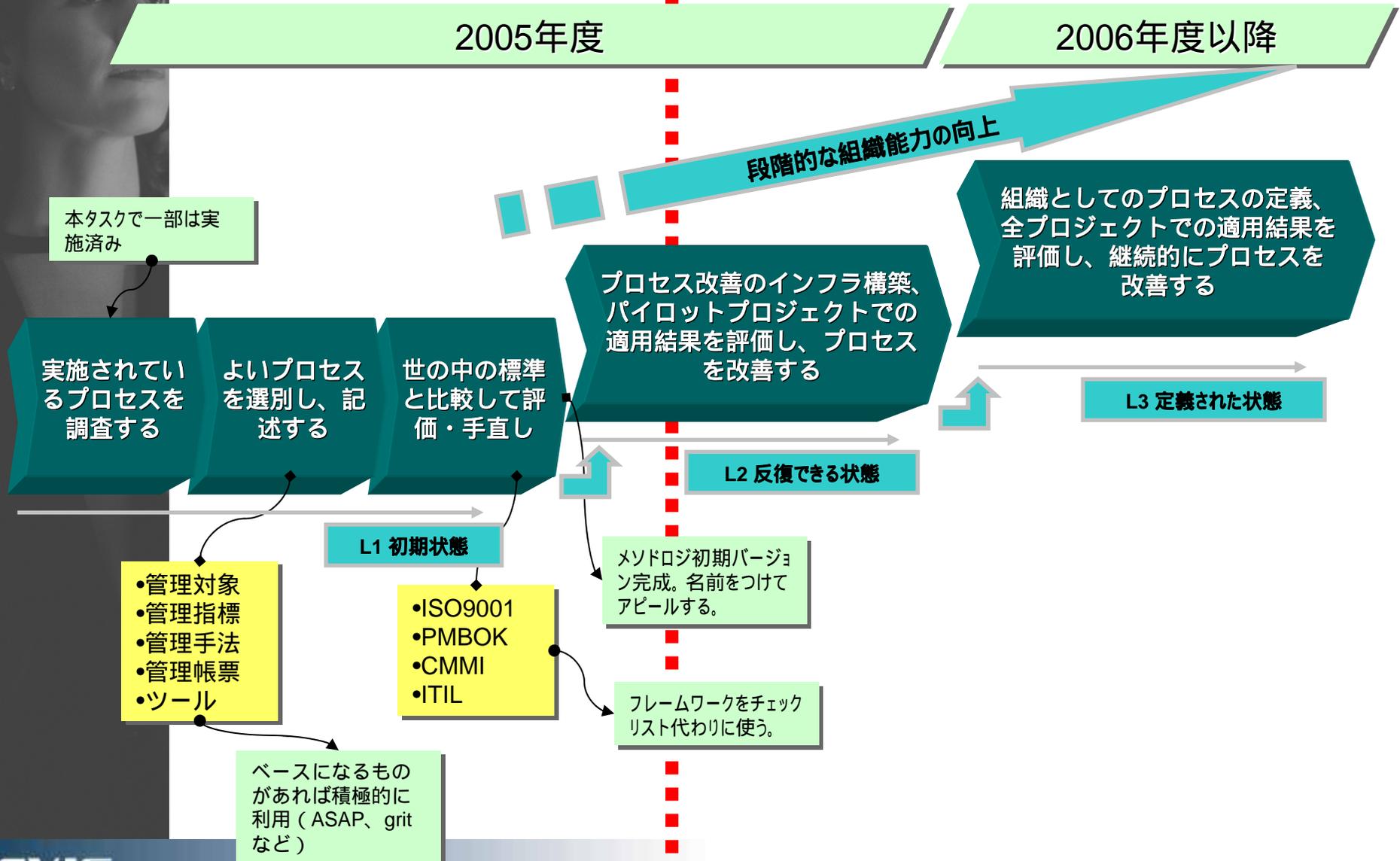


mySAP All-in-Oneソリューション  
BTS/SI(中堅IT会社向けR/3テンプレート)  
に適合したFXIS導入メソドログを確立



# 第2部 gritを基盤とした CMMI取り組み

# 2-1 プロセス改善ロードマップ



## 2-2 目標

以下のような企業になる  
共通言語・共通認識

定量的プロジェクト管理

メソドロジの進化に組織的に取り組んでいる

お客様の信頼

# 2-3 CMMI L2 SP 達成度自己評価

(取り組み前)



プロセスエリア			×	SP数	達成率
要件管理	1	1	3	5	30.0%
プロジェクト計画策定	1	6	7	14	28.6%
プロジェクトの監視と制御	0	6	4	10	30.0%
供給者合意管理	1	3	1	6	41.7%
測定と分析	1	1	6	8	18.8%
プロセスと成果物の品質保証	0	1	3	4	12.5%
構成管理	0	1	6	7	7.1%
合計	4	19	30	54	<b>25.0%</b>

手作業では  
困難なトレー  
サビリティ要  
求項目が未  
達成

トレーサビ  
リティ要求項目  
もふくめ、ほ  
とんどが未達  
成

## 2-4 達成度自己評価を受けて

### 未達成75%の考察

要求事項からソースコードまでの一貫したトレ  
ーサビリティは手作業では困難

### 未達成75%を埋めるアプローチ

手作業が困難なプラクティスの対応には**高機  
能な管理ツールを導入し自動化を促進する**

- ・ツール調査
- ・経営層への導入提案
- ・現場への説明会

## 2-5 管理ツール調査結果

要件管理ツール:

テレロジック社製DOORS

- 市場シェア1位
- 使い勝手が良い
- 構成管理ツールとの連携

構成管理ツール:

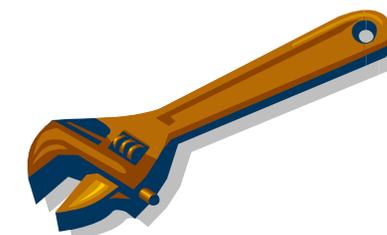
テレロジック社製SYNERGY

- 要件管理ツールとの連携

プロジェクト管理ツール:

Primavera社製Primavera

- PMBOK知識エリアの7割に対応



## 2-6 ツールの有効性評価

プロセス領域	ツールで達成	プラクティス数	対象ツール
要件管理	5	5	テレロジック社製 要件管理ツールDOORS
プロジェクト計画策定	6	14	Primavera社製 プロジェクト管理ツールPrimavera
プロジェクトの監視と制御	6	10	Primavera社製 プロジェクト管理ツールPrimavera
供給者合意管理	0	7	
測定と分析	6	8	Primavera社製 プロジェクト管理ツールPrimavera
プロセスと成果物の品質保証	0	4	
構成管理	7	7	テレロジック社製 構成管理ツールSYNERGY
合計	30	55	達成率: 25% 54.5%へ改善可能

## 2-7 現在の活動

### 現場への管理ツールの導入

- ・コンサルテーション
- ・トレーニング
- ・マイグレーション

#### 要件管理ツール:

テレロジック社製DOORS

#### 構成管理ツール:

テレロジック社製SYNERGY

#### プロジェクト管理ツール:

Primavera社製Primavera



# 2-8 今後の活動

2005年度										2006年度					
上半期					下半期					上半期					
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
<div style="background-color: #90EE90; padding: 10px; display: inline-block;"> <h2>ツール導入</h2> </div>					<div style="text-align: right; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">             ▼ 外部機関による 達成度評価           </div>								<div style="background-color: #FF6347; padding: 10px; display: inline-block; color: white; font-weight: bold; font-size: 1.5em;">             SQAプロ セス構築           </div>		



FXIS  
FUJI XEROX  
INFORMATION SYSTEMS

---

ご清聴ありがとうございました。



**FXIS**  
FUJI XEROX  
INFORMATION SYSTEMS

**本件に関するお問い合わせは**

**富士ゼロックス情報システム株式会社  
ソリューション事業部 ERPソリューション部**

**川崎 浩一**

**Mail:kawasaki@fxis.co.jp**

**<http://www.fxis.co.jp>**

記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。